記者発表資料

令和４年４月２７日
国土交通省東北地方整備局
成瀬ダム工事事務所

「成瀬（なるせ）ダム定礎式」を開催します

秋田県雄勝郡東成瀬村に建設中の成瀬ダムは、平成３０年５月に本体工事に着手し、昨年末時点でダム堤体打設の進捗が約２４％（全体４８５万立方メートルのうち１１６万立方メートル）となりました。

このたび、ダム本体の工事本格化にあたり、成瀬ダム建設に協力いただいた関係各位に謝意を表すとともにダムの永久堅固と安泰を祈願する「定礎式」を別紙１のとおり行いますのでお知らせします。

日時　令和４年５月１４日（土）
　　午前１０時３０分から１２時２０分予定（雨天決行）
場所　秋田県雄勝郡東成瀬村椿川地内　成瀬ダム　ダムサイト

※取材をご希望の報道機関の方は、事前に別紙７「取材申込書」を提出していただき、当日は１０時までに会場にお越しください。

《発表記者会》
秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲支局・湯沢支局
日刊秋田建設工業新聞、建設新聞社秋田支局

＜問い合わせ先＞

国土交通省　東北地方整備局　成瀬ダム工事事務所　副所長　小山内（おさない）（内線２０４）

住所　〒019-0801　秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字宮田 97-1

電話　０１８２－２３－８４５０（代表）

別紙１

「成瀬ダム定礎式」

１　日時：令和４年５月１４日（土）１０時３０分～１２時２０分頃（雨天決行）

２　場所：成瀬ダム　ダムサイト

３　主催：国土交通省東北地方整備局

４　次第

①　開　　式

②　式　　辞

③　来賓祝辞

④　来賓紹介・祝電紹介

⑤　地元小中学校児童生徒による期待の言葉

⑥　定礎行事

- 礎石搬入
- 定礎宣言
- 定礎
  - ・鎮定（ちんてい）の儀
  - ・斎鏝（いみごて）の儀
  - ・斎槌（いみづち）の儀
  - ・埋納（まいのう）の儀

⑦　万歳三唱・くす玉開披

⑧　閉　　式

５　主な出席予定者

衆議院議員、参議院議員、国土交通省

秋田県知事、秋田県議会議長

東成瀬村長、東成瀬村議会議長ほか関係市村

用地提供者など約２００名の方々

※「成瀬ダム定礎式」に先立ち、施工業者主催による「成瀬ダム定礎 修祓式」を９時００分から同会場にて執り行います。

別紙2

定礎行事　※写真は他ダムの例

定礎式は工事の安全とダムの永年の安泰を祈願する行事です。

礎石



礎石は秋田県産 男鹿石（おがいし）です。
七五三の故事に習い　横７０㎝、縦５０㎝、
高さ３０㎝、重さは約２５０kgあります。

礎石搬入



木遣り唄に合わせ、礎石をダムの中心に搬入。

定礎宣言



東北地方整備局長による定礎宣言。

鎮定（ちんてい）の儀



搬入された礎石を固めるため、モルタルを礎石の基礎に入れるものです。工事を進める道をつけるという意味があります。

斎鏝（いみごて）の儀



鎮定の儀により礎石の周りに入れられたモルタルを鏝で均すものです。鎮定の儀によりつけられた道を均すという意味があります。

斎槌（いみづち）の儀



木槌で礎石をたたいてしっかりと納めるものです。鎮定の儀でつけられ、斎鏝の儀で均された道をさらに強固なものにするという意味があります。

埋納（まいのう）の儀



礎石を堤体と一体になるようにCSGを打設します。

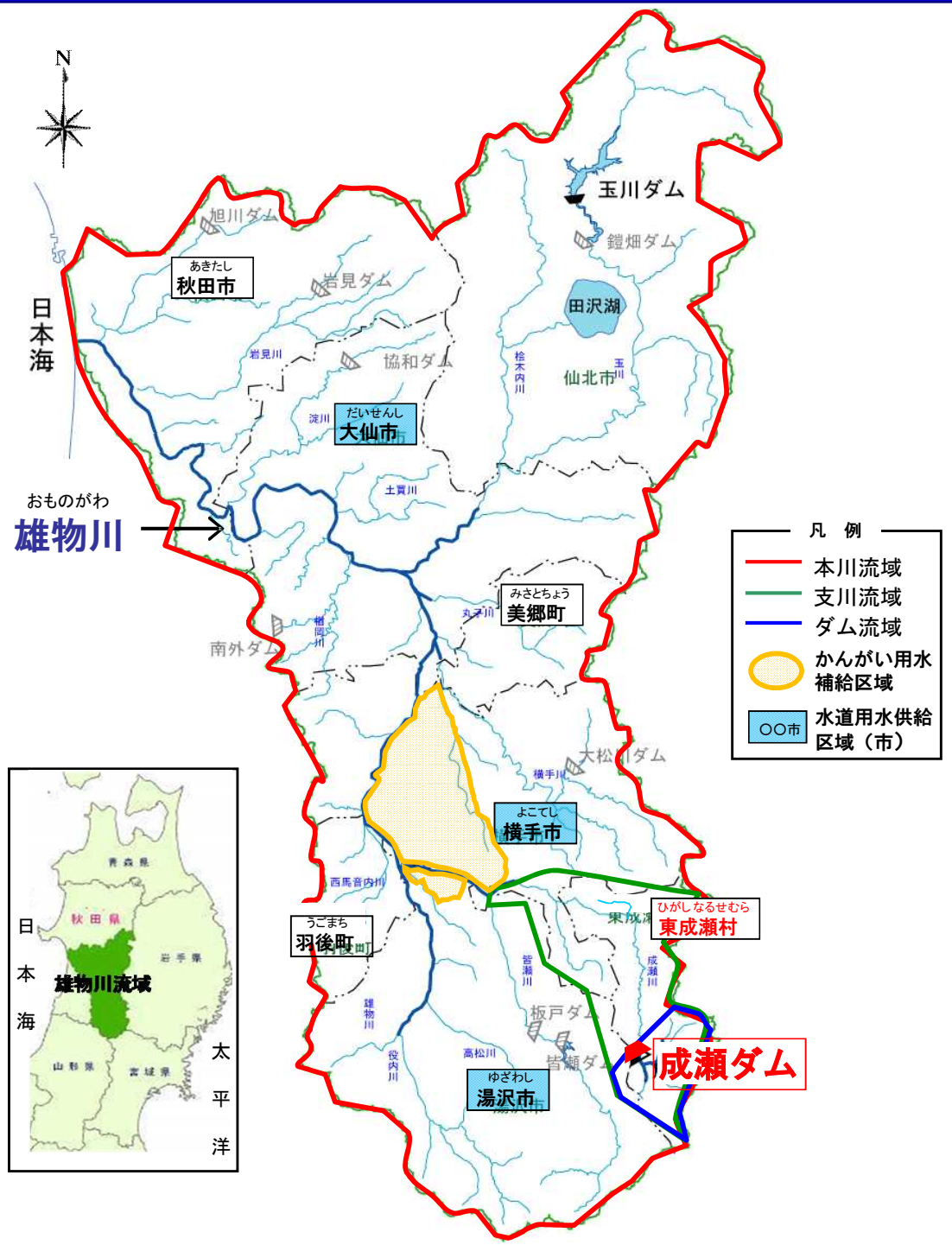
万歳三唱・くす玉開披



成瀬ダム事業概要

○場　所　秋田県雄勝郡東成瀬村（雄物川水系成瀬川）
○目　的
・洪水調節（成瀬川、皆瀬川、雄物川の洪水防御（秋田市、大仙市、横手市、湯沢市、羽後町、美郷町、東成瀬村の４市２町１村））
・流水の正常な機能の維持
・かんがい用水の補給（国営平鹿平野農業水利事業（大仙市、横手市、湯沢市）：最大27.353 m3/s）
・水道用水の供給（湯沢市、大仙市、横手市：13,164m3/日）
・発電（秋田県：最大 5,800kW）
○諸　元　堤高：114.5m　総貯水容量：7,850万m3
○型　式　台形CSGダム
○経　緯　昭和58年度　実施計画調査着手（補助事業）
　　平成３年度　実施計画調査着手（直轄事業）
　　平成９年度　建設事業着手
　　平成30年度　本体工事着手
○事業費　約　2,230億円（令和４年度事業費　232.4 億円）
○工　期　昭和58年度～令和8年度
○今年度の事業内容
　　本体工事、取水・放流設備工事、付替道路工事　等

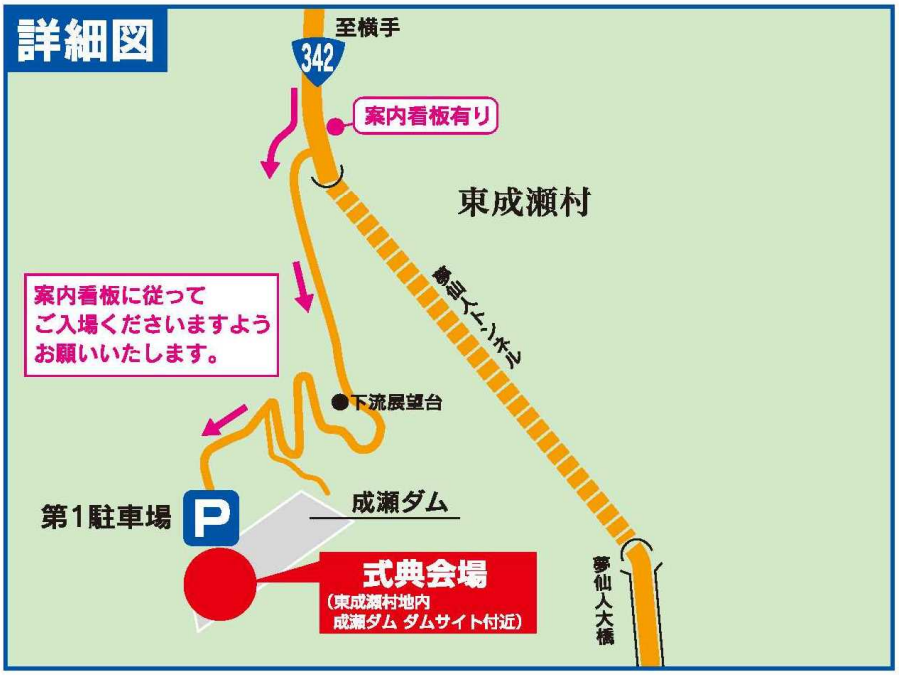




別紙４

会場案内図





定礎式会場入口より係員の指示にしたがって会場にお進みください。
駐車位置は、会場内の係員がご案内いたします。

別紙５

新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルスの感染防止のため、国土交通省東北地方整備局では、厚生労働省等の政府機関、地方公共団体等から情報を入手するとともに、以下の対策を講じてまいります。

参加される皆様におかれましても、感染対策に努めていただきますよう、ご理解、ご協力をお願いいたします。

なお、今後の感染拡大の状況によりましては、開催方法の変更や式典を中止等させていただく場合もございますので、予めご承知おきいただきますよう、よろしくお願いいたします。

国土交通省東北地方整備局

① 検温の実施・マスクの着用
② 手指消毒の実施
③ 飛沫防止アクリルパネル等の設置
④ 密集しないよう十分な距離の確保
⑤ アナウンスによる参加者同士のソーシャルディスタンス確保の呼びかけ
⑥ テント内の定期的な換気

参加者側

① ３７．５度以上の発熱、咳、喉の痛みや違和感などの症状がある場合は、参加をご遠慮願います。
② 式典会場に入る際は、検温・手指消毒にご協力願います。
③ 飛沫対策としてマスクの着用をお願いいたします。
④ 参加者間のソーシャルディスタンスを十分に確保し、密集・密接をお控えいただくようお願いいたします。

別紙６

成瀬ダム定礎式取材時のお願い

① 取材のお申し込みは、別紙７「成瀬ダム定礎式取材申込書」にご記入いただき、東北地方整備局成瀬ダム工事事務所あてにメール又はＦＡＸにて提出願います。

② お申し込みいただきました報道機関には、メール又はＦＡＸにて当日の会場内への出入りに必要な「駐車証」を送らせていただきます。式典会場にお越しの際には、「駐車証」を車のダッシュボード上に置いていただきますようお願いいたします。

③ 来賓の方々など多数出席されますので、取材時の服装についてはご配慮願います。また、取材いただく際には、お持ちの腕章等の着用をお願いいたします。

④ 会場内でのドローン（無人飛行機）の使用は、ご遠慮願います。

⑤ 取材当日、37.5 度以上の発熱、咳、喉の痛みや違和感などの症状がある場合は、取材をご遠慮願います。

⑥ 取材前の検温・手指消毒と取材中のマスク着用にご協力願います。

別紙７

成瀬ダム定礎式　取材申込書

取材の申し込みについて、下記事項を必ずご記入いただき、**５月１１日（水）１７時まで、メール又はＦＡＸにて提出願います**。

１　報道機関名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

２　取材記者名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

３　同行者名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

４　当日の車両　　車　　種：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ナンバー：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

５　駐車証の送付先（メールアドレス又はＦＡＸ番号）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

６　当日の緊急連絡先（携帯番号）※当日に連絡が取れる番号を記入願います。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※密を避けるため、各社最小限の人数でお願いします。
※取材時は受付にて名刺をご提出いただきますようお願いします。
※申込書に記載されている情報は、本目的以外には使用しません。

お申し込み先
国土交通省　東北地方整備局　成瀬ダム工事事務所　総務課　小浅行き ＦＡＸ：０１８２－２３－８４４９ メールアドレス：thr-narusedam01@mlit.go.jp